

## 「理想の精神科看護」を一緒に目指しませんか？

人はうまく状況に適応できなくなると、不眠・食欲低下・下痢・便秘・頭痛・肩こり・動悸・めまい・息苦しさなどの身体的な症状が生じてきます。さらに悪化すると、不安や抑うつ、軽躁、そして幻覚や妄想などの精神的な症状にまで発展することもあります。これは、危機の際に生き延びるための過剰な生理的反応と言えます。

そんなときに患者さんが訴えること、それに伴う自傷行為や不穏、興奮などの行動を、単なる精神症状ととらえるのではなく、「背景や原因と思われる何かがあるのではないか？」という想像力を持ち、絶えず共感をもって声をかけ、時には黙って側にいることができる、そんな精神科看護を目指しています。

精神科は、機械などを使わずに、人と関わるなかの言葉や態度、眼差しで人を救うことができる場所です。患者さんから「先生や看護師さんの一言に救われた」「〇〇をしてもらえてホッとした」と言っていただけのこと、何よりの喜びです。

もちろん難しいケースもありますが、一人で抱え込まず、当院の経験豊富な精神科専門職員とともに対応していきましょう。

私たちと一緒に精神科看護をやってみませんか？

きっとあなたのやりたい看護が見つかると思います。